

慣れ親しんだ土地を離れることなく、今までと同じ地域の中で安心して暮らしてほしいという思いから、在宅医療事業部として施設系としては8年ぶりに新規施設をオープンします。当然ながら職員は24時間体制で寝たきりなど介護の高い方、認知症など処置の必要な方まで幅広く受入れ、看取りまで行なう施設です。また建物内に小規模多機能居宅介護を併設し、これと合わせて「介護付き有料老人ホームのぞみ」ならではの充実したサービスを実施します。

快適な暮らしと安心感を高める、充実の設備

建物は3階建てで、1階が小規模多機能型居宅介護。2階～3階に29戸の介護付き有料老人ホームが設置されています。居室の広さは18㎡（約11帖大）緊急用通報装置はもちろん、床ずれなどの防止に役立つ低反発マットを採用した介護ベット、収納家具まで備え付け、抗菌じゅうたん、自動湿度調整機能装置など介護付き有料老人ホームでこれだけ標準装備されているところは少なく、設備面の充実が目を引きまます。

また、居室はあくまでも個人の住まいなので、入居者のプライバシーを守るため、できる限りスタッフが居室内に入ることなく入居者が見守れるよう、ドアに小窓を設置されています。

共同設備としては、2階に浴室スペース、機械浴室、食堂等があります。また1Fに自家製の野菜を育てたり、お花を育てたりできるスペースも用意しています。

当法人が運営する施設だからこそ叶えていきたい

現在、名古屋市の中に透析患者様をご入居できる施設は、数施設しかありません。「介護付き有料老人ホームのぞみ、小規模多機能居宅介護のぞみ」は透析患者様もご入居できる施設です。これまで当法人で治療を受けていただき、ご自宅とクリニックの通院ができなくなるケースを私自身もこれまで何度も見てきました。患者様お一人お一人で将来のことについてお考えなると思っています。この医療法人で良かったと思っただけのことが在宅医療事業部としても同じ願いです。やっと実現にむけた第1歩が踏み出せました。

入居者の介護度は、個々によって違います。私たち在宅職員が考える施設とは、個人のプライベートな時間を楽しんでいただきつつ、時には職員と笑い合えるレクリエーションや行事などを行いたいのが本音です。ここが最後の家であり、施設で働く職員は、介護者でなく補助者として考えていただけると良いのではないかと思います。まだまだ在宅医療事業部は次なる展開にむけ進んでいます、なにか気になることや質問などありましたら、総合相談窓口へお電話ください。（052-365-1811）